

# CASBEE® 新築 [簡易版]

# 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-新築 (簡易版) 2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010(v.1.6)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)特別養護老人ホームつばさ	階数	地上6F
建設地	大阪府堺市西区浜寺石津町西一丁	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、準工業地域	平均居住人員	100人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,000時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年12月 予定	評価の実施日	2013年9月1日
敷地面積	2,041 m <sup>2</sup>	作成者	榎藤田建築設計事務所
建築面積	939 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	4,737 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 0.8**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub> (温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値 ② 建築物の取組み ③ 上記+②以外のオンサイト手法 ④ 上記+オフサイト手法

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

**Q のスコア = 2.5**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 1.8

**LR のスコア = 3.2**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.2

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>	<input type="checkbox"/> 周囲の景観を損なわないように注意し、緑地帯が道路に面するよう努力した。 <input type="checkbox"/> 入居者をはじめとし誰もが使いやすく、安全で快適な施設作りとする。	<b>その他</b>
<b>Q1 室内環境</b>	<input type="checkbox"/> 庇やカーテンにより昼光制御を行っている。 <input type="checkbox"/> 入居者の健康を配慮したシックハウス対策	<input type="checkbox"/> 特になし
<b>Q2 サービス性能</b>	<input type="checkbox"/> 入居者をはじめとし誰もが使いやすく、安全で快適なバリアフリーの施設とする。	<input type="checkbox"/> 周囲近隣建物と比べ建築高さが高いため、壁面は道路より隔離を確保し、まとまりのある緑地帯を道路沿いに設けた。
<b>LR1 エネルギー</b>	<input type="checkbox"/> 効率良く空調・換気設備を配置している。	<input type="checkbox"/> 限られた敷地の中、駐車場は道路から見えにくい場所に設けた。
<b>LR2 資源・マテリアル</b>	<input type="checkbox"/> 有害物質を含まない材料を使用し、躯体と仕上材の分離がしやすく、部材の再利用が可能	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される  
 ■ LCCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCCO<sub>2</sub>算定条件シート」を参照されたい





1. 建物概要	建物名称	(仮称)特別養護老人ホームつばさ	BEE	BEEランク
	建設地	大阪府堺市西区浜寺石津町西一丁335-1、336-1	0.8	B-
	主用途/延床面積	病院 / 4,736.82 m <sup>2</sup>		

2. 重点項目への取組み		
重点項目	評価点	取組み度
CO <sub>2</sub> 削減	4	● ● ● ● ●
省エネ対策	3	● ● ● ● ●
みどり・ヒートアイランド対策	2	● ● ● ● ●
安全快適な暮らし	3	● ● ● ● ●

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア				
CO <sub>2</sub> 削減		評価項目	スコア	評価点
地球温暖化への配慮		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値	3.8	4
省エネ対策		評価項目	スコア	評価点
外皮性能	CASBEE「Q1-2 2.1.3」のスコアによる評価値	建物全体	3.0	3
		住居・宿泊部分	3.0	
建物の熱負荷抑制		CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値	2.0	
自然エネルギーの利用		CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値	3.5	
設備システムの高効率化		CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値	4.6	
効率的運用(集合住宅は対象外)		CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価値	3.0	
水資源保護		CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価値	3.0	
みどり・ヒートアイランド対策		評価項目	スコア	評価点
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値	1.0	2
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価値	2.0	
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価値	2.0	
安全快適な暮らし		評価項目	スコア	評価点
バリアフリー計画		CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値	3.0	3
耐震・免震		CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値	3.0	
地域性への配慮、快適性の向上		CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値	3.0	
交通負荷抑制		CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値	4.0	

4. その他	
技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項	